

図書館のホームページは  
<http://lib.jichi.ac.jp>

目 次	
エッセイ……………	1～3
最近のトピックス……………	3
和雑誌特集記事……………	4～7
寄贈図書紹介……………	8
蔵書点検による臨時閉館について……………	8

## 私と「長崎くんち」

卒後指導部長兼地域医療学センター教授 塚原 太郎

昨年9月から本学に勤務させていただいている。私は大学での肩書きのほかに「長崎奉行」という肩書きも持っている。これは、中央省庁から長崎県庁に出向した職員が東京に戻るときに知事から委嘱されるものである。長崎県の応援団としてPRして欲しいということらしい。そこで、その職責(?)を果たすべく、長崎のPRを兼ねて筆を取らせていただくこととした。

長崎県は水産業、造船業と並んで観光業が主要産業である。このため、全国的に観光客が集まる祭りも多い。長崎燈会(旧正月)、長崎帆船祭(4月)、精霊流し(8月15日)、長崎くんち(10月)などがあり、いずれも期間中に数十万人が来崎する。

私は、この中でも「長崎くんち」の大ファンである。長崎ではファンのレベルを越えると「くんちバカ」というらしいが、その域に達しているように思う。家族も「間違いないっ」と言っている。そこで、「長崎くんち」をPRさせていただこうと思う。

「長崎くんち」は、長崎市民の氏神、諏訪神社の祭祀行事で、毎年10月7日から3日間、町を挙げて催される秋の大祭である。漢字では「宮日」と書く。9日(くにち)に終わるから「くんち」だという説もある。長崎の神様は普段諏訪神社におられるが、この秋の3日間、長崎の港の別宅においでになられ、1年間の疲れを癒し、パワーアップして諏訪神社に戻られる。3日間滞在される場所を「お旅所」という。TVゲー

ム風に言うと、「長崎市民を守るため、戦い傷ついた諏訪神社の神様が海岸近くの別荘で休養をとり、HPとMPを満タンにして再び戦いの旅に出る。」といったところではないかと思う。

この間、長崎の町は、シャギリの音があふれ、沿道には多数の露店が軒先を並べるなど祭り一色となる。開催日は曜日に関係なく10月7日～9日と決まっているが、市内の小学校は休みとなる。秋の県議会もどんなにもめても6日までには終わるらしい。この期間に県庁で会議でもセットしようものなら・・・である。

「長崎くんち」は、7日の7時から諏訪神社の境内で神様に奉納される「奉納踊り」で幕を開ける。最も有名な「奉納踊り」が「龍踊り」で、「あーそれなら知っている」という方も多いと思う。「奉納踊り」は江戸時代(1634年)に始まった。長崎の花街である丸山町の遊女が神前に謡曲を奉納したのがその起源といわれている。その後、舞踊(「本踊り」という)だけでなく、龍踊りや船形の山車の曳きものなど華やかで勇壮な出し物を奉納されるようになった。これらを総称して「奉納踊り」という。ちなみに、この有名な「龍踊り」は「りゅうおどり」ではなく、「じゃおどり」と発音する。



その年に「奉納踊り」を披露する当番の町を踊町（おどりちょう）という。現在、長崎市内には59の踊町があり7グループに分けられている。したがって、当番は7年に一度回ってくる。江戸時代には77の踊町があり、毎年10近くの「奉納踊り」が行われていたらしいが、現在は多い年で7か町、少ない年では5か町が踊町である。

町内会ごとに自慢の「奉納踊り」がある。「本踊り（日本舞踊）」、「阿蘭陀漫才」といった踊り系のものばかりでなく、龍踊り、神輿などの担ぎもの、船形の山車の曳きものなどがある。船にも多くの種類があり、川船（川で漁を行う船）、阿蘭陀船（オランダの貿易船）、南蛮船（ポルトガルの貿易船）、御朱印船（中国貿易の船）、御座船（長崎港の取締り船：税関、警察）など多様であり、最も軽い川船でも約3トン、重いものでは約5トンもあるそうである。

わが家族の住む銀屋町の出し物は「鯨太鼓（しゃちだいこ）」という。櫓に大きな太鼓が積まれ屋根に銀の鯨をあしらった御輿なので鯨太鼓という。重さは2トンもある。約40人の男衆がかついで、街中をねり歩くほか、途中で御輿を回転させたり、天高く投げ上げたりする勇壮な演技であることから人気が高い。この類の「奉納踊り」は、樺島町と銀屋町の2つのみであり、7年に2回しか見られない貴重な「奉納踊り」である。

3日の間に、踊町が「奉納踊り」を行う場所が4か所ある。そこには、奉納踊りを行う場所（踊り馬場という。）があり、これを囲むように棧敷が設けられる。諏訪神社、公会堂、お旅所、八坂神社で計9場所行われる。踊町は3日間4か所を移動しながら「奉納踊り」を披露する。ちなみに諏訪神社の入場料は、A席（1柙@24000円：定員4人）、B席（同@18000円）、C席（1人@3000円：定員4人の相席）、当日の立ち見券（@1500円）である。毎年、6月に売り出されるが、朝早くから並ばないと手に入らないプラチナチケットである。

踊町の演技には一定の流れがある。まず、傘鉦が入ってくる。その様子は私の表現力の限界を超えているので省略するが、各踊り町のプラカードのようなものである。この傘鉦の演技の後に、町内会の役員が神様に縁起物をお供えし、着飾った町内会の皆さんがパレードをする。その後、奉納踊りの開演に先立って町の世話役や出演者が、一般観客席にこの引出物を撒く。

大体は町じるしやその町のだしものに因んだ図案を染めた日本手ぬぐいで、縁起物として人気が高い。そして、奉納踊りを披露して退場することになるが、その時に、「モッテコーイ」という掛け声が係る。「長崎くんち」で有名なアンコールの掛け声である。1回、2回のアンコールは当たり前で、さすがにもう終わりだろうと思っても、また戻ってきて演技をする。各町の持ち時間は30分～40分の予定（プログラムにはそう書いてある）であるが、アンコールに応じて戻ってきた回数だけ長くなる。中には1時間を越えるときもある。通して、約4時間のプログラムであるが、奉納踊りにはいろんな種類があり、趣向を凝らした演技であるため飽きない（少なくとも私は）。

この他にも、長崎駅前など観客席はないが立ち見専用の踊り馬場が市内に数か所ある。実は、長崎県庁の正面玄関にも踊り馬場があって、各踊り町が奉納踊りを披露してくれる。もちろん無料ということもあって、県庁正面玄関はちょっとした穴場である。

先日、わが家のマンションの壁に、今年の踊町として奉納踊りを行うための町内会の予算書が張ってあった。それとなく見てみたら、奉納踊りのための総予算は約3000万円である。「えっ300万円の間違いじゃないの？」と思われた方も多いと思うが、ワープロの打ち間違いではなさそうである。今年の踊町はわが銀屋町を含めて7か町である。したがって、奉納踊りを担当する7か町の総予算は約2億円ということになる。収入は7年間の町内会費の積立金、長崎市からの補助金、商店などからの寄付金などである。支出は、奉納踊りを行う選手の新調したユニホーム代（10万円のちりめんの浴衣を着れば50人の担ぎ手の分で500万円になる。）や船に舳先に座る船頭役のこどもが着る着物（長崎刺繍という特に貴重なものらしいが、100万円とか200万円とかするらしい。）などびっくりしてしまう。精霊流しもそうであるが、長崎の人は祭りが大好きで金に糸目をつけないように思える。

私が長崎県庁に勤務した5年間で5回の長崎くんちがあった。毎年、踊町がどのような奉納踊りをするか楽しみで、3日間は年次休暇をとり、棧敷に陣取り「モッテコーイ」と盛りあがったり、特に最員の出し物には1日中おっかけをするなど堪能させていただいた。この間、縁起物の手ぬぐいも32本ゲットした。今ではわが家の家宝になっている（といっても家宝と思っているのは私一人だけのようであるが）。今年は、

わが銀屋町も7年ぶりの当番町であるので、鯨太鼓を披露する。既に6月1日からか担ぎ手の皆さんは体力づくりと演技の練習が始まっている。なんせ2トン(40人で担ぐとして1人当り50kgとなる。)もの神輿を3日間、朝から晩まで担いで歩き、1日100回単位でこの神輿を放り上げる重労働であるから練習も半端ではない。この日を「小屋入り」といって、奉納踊りの

成功を祈願して諏訪神社にお参りする。既に「長崎くんち」は始まっている。10月8日(月)と10月9日(火)は年次休暇をとって、踊り馬場の栈敷席に陣取る予定である。大学の教職員の皆様や学生さんも是非一度は長崎の秋の大祭に足を運ばれるよう長崎奉行としてお願いし、筆をおかせていただくこととする。



## 最近のトピックス

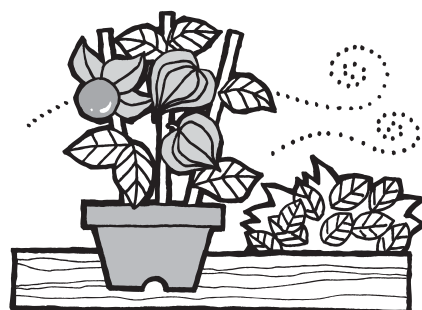
- |       |          |                           |              |                                                                |
|-------|----------|---------------------------|--------------|----------------------------------------------------------------|
| 5月11日 | 朝日       | ゴクッ「カプセル内視鏡」丸紅・スズケン月末から販売 | 麻酔など負担減      | 小腸検査に威力                                                        |
| 14日   | 朝日       | 大学院へ飛び入学急増                | 3年生から        | 人材確保へ囲い込み                                                      |
| 15日   | 読売       | 病院経営                      | 商社が指南        | ファンド設立で支援                                                      |
| 16日   | 産経       | 大卒就職率7年連続?                | 今春96.3%      | 団塊大量退職で採用枠増 中国・四国ではダウン<br>地域格差も                                |
| 17日   | 読売       | 変死                        | 解剖わずか9%      | 先進国最低水準 犯罪見逃しの恐れ 法医学会、見直し要望へ                                   |
| 21日   | 日経<br>下野 | 私大型の複数受験・複数合格             | 国立大に導入       | 問題多く 現在の制度理解 事実認識に誤り<br>自治医大 女性医師復職を支援 技術再研修、育児サポート 人材確保へ10月から |
| 25日   | 読売       | がん治療認定医 創設                | 4団体          | 治療、緩和 幅広い知識                                                    |
| 28日   | 毎日       | 研修医、へき地に誘導                | 医師不足対策案      | 政府・与党作成 大都市圏の枠削減                                               |
| 6月6日  | 下野       | がん終末期医療に指針案               | 患者の意思で延命中止   | 厚労省研究班 「余命3週間」呼吸器外<br>しも                                       |
| 7日    | 毎日       | 人口動態統計                    | 出生率1.32に     | 06年6年ぶり上昇                                                      |
| 8日    | 日経       | 自殺、学生・生徒で最悪               | 昨年2.9%増の886人 | 総数9年連続3万人超 60歳以上も目立つ                                           |

<b>A</b>	アレルギー	プライマリ・ケア医のための小児アレルギーの診かた — 専門医・学校医・家庭医の連携 —	治療	89 (5) 2007
	Aprotinin	アプロチニン：その歴史と未来	総合臨 臨麻	56 (5) 2007 31 (5) 2007
<b>B</b>	鼻アレルギー	特集Ⅱ 鼻アレルギーの病態解明と治療の進歩	臨免疫・アレルギー科	47 (4) 2007
	母体搬送	母体救急	臨婦産	61 (5) 2007
<b>C</b>	クラミジア感染症	クラミジア感染症の基礎と臨床	臨と微生物	34 (3) 2007
	中皮腫	中皮腫の診断と治療	癌の臨	52 (11) 2007
	中毒	救急医療の実際 (2) — 外傷・熱傷・中毒 —	医と薬学	57 (4) 2007
<b>D*</b>	大動脈解離	大動脈解離 — 最近の話題	心臓	39 (5) 2007
<b>E</b>	栄養管理	QOL重視の消化器術前・術後栄養管理 — 内視鏡手術を中心に	臨栄	110 (5) 2007
		高齢者の栄養・感染管理	薬局	58 (6) 2007
<b>I</b>	院内感染	病院感染対策にかかわるサーベイランス	Med Technol	35 (5) 2007
	Interferons	特集Ⅱ ペグインターフェロン・リバビリン 併用療法無効例の特徴と対策	消化器科	44 (4) 2007
	インターベンショナル超音波診断	冠動脈インターベンションの進歩	Bio Clin	22 (6) 2007
	遺尿症	意見・異見 夜尿をめぐって	小児臨	60 (6) 2007
<b>J</b>	児童精神医学	児童精神医学—臨床の最前線	医のあゆみ	別冊 2007
	* 自己炎症症候群	Autoinflammatory syndromeの新たな展開と治療法の確立	日臨免疫会誌	30 (2) 2007
	人工呼吸器	最新! 人工呼吸療法 一般病棟で必須の7つのトピックス 人工呼吸器のセーフティマネジメント	ナーシング・トゥデイ 看護技術	22 (7) 2007 53 (7) 2007
	人工ペースメーカー	ペースメーカー治療	Heart View	11 (6) 2007
	人類学	保健と医療の人類学	保健の科学	49 (5) 2007
	腎臓疾患	慢性腎臓病 慢性腎臓病 (CKD) — 現状と対策	日内会誌 腎と透析	96 (5) 2007 62 (5) 2007
	術後合併症	肝胆膵術後合併症 — その予防のために	臨外	62 (6) 2007
	術後管理	QOL重視の消化器術前・術後栄養管理 — 内視鏡手術を中心に	臨栄	110 (5) 2007
	術前管理	QOL重視の消化器術前・術後栄養管理 — 内視鏡手術を中心に	臨栄	110 (5) 2007
<b>K</b>	肝炎—ウイルス性—ヒト	ウイルス肝炎 実地診療A to Z	medicina	44 (5) 2007
	看護技術	やってはいけない看護技術	看実践の科学	32 (7) 2007
	看護倫理	看護倫理 こんなときどうする?	臨看	33 (7) 2007
	幹細胞	幹細胞とニッチ	医のあゆみ	221 (7) 2007
	肝細胞癌	肝細胞癌に対するインターフェロンの効果	日消病会誌	104 (5) 2007
	感染予防管理	高齢者の栄養・感染管理	薬局	58 (6) 2007
	関節	関節の診察法	リウマチ科	37 (5) 2007
	関節炎	若年性特発性関節炎 — 診断と治療における進歩 —	最新医	62 (5) 2007

関節リウマチ	関節リウマチのパラダイムシフト －生物学的製剤時代の最新治療動向	医のあゆみ	221 (5) 2007
緩和ケア	知っておきたい癌緩和ケアの進歩	外科治療	96 (5) 2007
肝臓疾患	肝・消化管疾患の新しい臨床 肝胆膵術後合併症 ーその予防のために	小児診療 臨外	70 (6) 2007 62 (6) 2007
肩こり	肩こりの病態と治療	臨整外	42 (5) 2007
血管平滑筋	揮発性麻酔薬の血管平滑筋細胞への直接作用とその機序	臨麻	31 (5) 2007
近視	近視の眼底	眼科	49 (5) 2007
呼吸窮迫症候群－急性	ALI/ARDSの病態と治療	呼吸と循環	55 (6) 2007
骨腫瘍	良性骨軟部腫瘍に対する手術治療のpitfall	整・災外	50 (6) 2007
骨粗鬆症	産婦人科医に必要な骨粗鬆症の知識 ーとくにSERMについてー 骨粗鬆症－診断・治療の最前線 骨粗鬆症と臨床検査	産婦治療 日医師会誌 臨検	94 (5) 2007 136 (2) 2007 51 (6) 2007
抗感染剤	マクロライド系抗菌薬 抗菌活性・適応から新作用まで	治療学	41 (5) 2007
高血圧	最新の高血圧診療 エビデンスからみた評価と論争点	Mod Physician	27 (5) 2007
口腔外科	一般臨床家、口腔外科医のための口腔外科 ハンドマニュアル'07	Quintessence	別冊 2007
高齢者	高齢者の栄養・感染管理	薬局	58 (6) 2007
抗腫瘍剤	制がん剤の分子標的スクリーニング成績	癌と化療	34 (suppl.1) 2007
救急医療サービス	母体救急	臨婦産	61 (5) 2007
<b>M</b> 慢性疲労症候群	慢性疲労症候群	日臨	65 (6) 2007
麻酔剤	揮発性麻酔薬の血管平滑筋細胞への直接作用とその機序	臨麻	31 (5) 2007
免疫療法	がん免疫療法の現状と課題	細胞	39 (6) 2007
MRI	MRIの臨床応用 ーUpdate 2007ー	日獨医報	52 (1) 2007
<b>N</b> 内分泌系疾患	内分泌領域における最近の画像検査の進歩 症例から学ぶ内分泌疾患のPitfall	ホルモンと臨 小児内科	55 (特別増刊) 2007 39 (5) 2007
内視鏡法	QOL重視の消化器術前・術後栄養管理 ー内視鏡手術を中心に 鏡視下手術のための局所解剖アトラス 消化器内視鏡診療の展望 鏡視下手術におけるcontroversyー積極的な立場 vs 慎重な立場	臨栄 消外 カレントセラピー 外科	110 (5) 2007 30 (6) 2007 25 (6) 2007 69 (6) 2007
軟部組織腫瘍	良性骨軟部腫瘍に対する手術治療のpitfall	整・災外	50 (6) 2007
ネオアジュバント療法	Neoadjuvant Chemotherapy/Chemoradiotherapy	医のあゆみ	221 (4) 2007
熱傷	救急医療の実際 (2) ー外傷・熱傷・中毒ー	医と薬学	57 (4) 2007
肉芽腫－形質細胞	炎症性偽腫瘍	病理と臨	25 (5) 2007
NK細胞	NK細胞の細胞認識機構と疾患	実験医	25 (9) 2007
脳腫瘍	脳腫瘍 ～最新の治療と看護～	がん看護	12 (4) 2007
脳卒中	注目されるべき脳卒中後肺炎と脳卒中後うつ病	成人病と生活習慣病	37 (4) 2007
<b>P</b> プライマリケア医	プライマリ・ケア医のための小児アレルギーの診かた ー専門医・学校医・家庭医の連携ー	治療	89 (5) 2007
<b>R</b> リハビリテーション	リハビリテーションにおける疼痛コントロール	Med Rehabil	79 2007

<b>R</b> Ribavirin	特集Ⅱ ペグインターフェロン・リバビリン 併用療法無効例の特徴と対策	消化器科	44 (4) 2007
理学療法	実践理学療法のエビデンス	理療ジャーナル	41 (5) 2007
臨床検査	意味がわかる・手技がわかる・結果のみかたがわかる 基礎から身につける検査力	消外ナース	12 (6) 2007
臨床試験	癌臨床試験を支援する機構のあり方	癌の臨	52 (10) 2007
<b>S*</b> 災害看護	小児における災害看護	小児看護	30 (6) 2007
再生医学	インプラントのための再生療法 生殖医療から再生医療へ	Quintessence Dent Imp ホルモンと臨	別冊 2007 55 (5) 2007
酸素吸入療法	誰にも聞けなかった酸素投与のギモン解決Q&A	エキスパートナース	23 (7) 2007
生活の質	QOL重視の消化器術前・術後栄養管理 -内視鏡手術を中心に	臨栄	110 (5) 2007
性行為感染症	性感染症-今、なにが問題か	臨と研	84 (5) 2007
精神医学	児童思春期精神医学の最近の進歩 睡眠と精神医学:「睡眠精神医学」の推進	臨精医 精神医	36 (5) 2007 49 (5) 2007
生殖医学	生殖医療から再生医療へ	ホルモンと臨	55 (5) 2007
歯科インプラント	インプラントのための再生療法	Quintessence Dent Imp	別冊 2007
心電図	研修医のための心電図のよみ方入門	レジデントノート	9 (3) 2007
*心不全	心不全 大改訂ガイドラインから第一線実地診療へ 心不全 下 最新の基礎・臨床研究の進歩	Med Pract 日臨	24 (5) 2007 増刊号 2007
思春期	児童思春期精神医学の最近の進歩	臨精医	36 (5) 2007
食道腫瘍	特集Ⅰ 食道癌治療における放射線科学療法の位置づけと展望	消化器科	44 (4) 2007
食育	周産期からみた食育	周産期医	37 (5) 2007
褥瘡性潰瘍	褥瘡予防・ケアのベストプラクティス 寝たきりにしないトータルケア	ナーシング・トゥデイ	22 (6) 2007
食欲障害	摂食障害	最新医	別冊 2007
消化器疾患	QOL重視の消化器術前・術後栄養管理 -内視鏡手術を中心に 肝・消化管疾患の新しい臨床 消化器内視鏡診療の展望	臨栄 小児診療 カレントセラピー	110 (5) 2007 70 (6) 2007 25 (6) 2007
消化器腫瘍	消化器癌の外科病理	消外	30 (5) 2007
小児	小児における災害看護 プライマリ・ケア医のための小児アレルギーの診かた -専門医・学校医・家庭医の連携-	小児看護 治療	30 (6) 2007 89 (5) 2007
小児歯科医療	小児の歯の健康	小児科	48 (6) 2007
周術期管理	小児周術期管理の諸問題	麻酔	56 (5) 2007
周産期管理	周産期からみた食育	周産期医	37 (5) 2007
腫瘍	癌臨床試験を支援する機構のあり方 知っておきたい癌緩和ケアの進歩	癌の臨 外科治療	52 (10) 2007 96 (5) 2007

	がん免疫療法の現状と課題	細胞	39 (6) 2007
	誤診しやすい腫瘍・類腫瘍	産と婦	74 (6) 2007
Sialic Acid	シアル酸の多様性と認識 感染と免疫の共進化	細胞工学	26 (6) 2007
創傷と損傷	救急医療の実際 (2) ー外傷・熱傷・中毒ー	医と薬学	57 (4) 2007
	創傷管理の新知見 I	形成外科	50 (5) 2007
睡眠	睡眠と精神医学：「睡眠精神医学」の推進	精神医	49 (5) 2007
膵切除	膵切除・膵切離の工夫	手術	61 (5) 2007
水痘	水痘ー带状疱疹 ウイルスと神経系	神経内科	66 (5) 2007
膵臓疾患	肝胆膵術後合併症 ーその予防のために	臨外	62 (6) 2007
<b>T</b> 带状疱疹	水痘ー带状疱疹 ウイルスと神経系	神経内科	66 (5) 2007
胆道閉鎖症	非切除悪性胆道閉塞に対するステントイング ー病態に応じた治療戦略を考えるー	胆と膵	28 (4) 2007
胆道疾患	肝胆膵術後合併症 ーその予防のために	臨外	62 (6) 2007
頭部	ER必携 頭部の画像診断	画像診断	27 (6) 2007
疼痛	“痛み”を訴える患者にどう対処するか リハビリテーションにおける疼痛コントロール	救急医 Med Rehabil	31 (5) 2007 79 2007
トランスジェニックマウス	遺伝子改変マウスの作製法	日薬理誌	129 (5) 2007
<b>U</b> うつ病	注目されるべき脳卒中後肺炎と脳卒中後うつ病	成人病と生活習慣病	37 (4) 2007
<b>Y</b> 薬理学	やさしい薬理学講座	臨看	33 (7) 2007
<b>Z</b> 前立腺特異抗原	PSA-Fの判定基準 ー治療後のPSA値の推移ー	臨放	52 (5) 2007
喘息	2006GINAガイドラインとJGLの比較に学ぶ	アレルギーの臨	27 (6) 2007



## 寄贈図書紹介

No.	寄 贈 者	書 名	出 版 社	分 類
1	高 久 史 麿	共用試験対策シリーズ6	リプロ・サイエンス	WH 100
2	高 久 史 麿	WMA 医の倫理マニュアル	日本医師会	W 50
3	高 久 史 麿	ワシントン外科マニュアル 第2版	メディカル・サイエンス・ インターナショナル	WO 500
4	高 久 史 麿	臨床検査データブック 2007-2008	医学書院	QY 25
5	小 西 文 雄	よくわかる大腸癌のすべて	永井書店	WI 529
6	杉 山 幸 比 古	イヤートート 内科・外科等編 (2008年版)	メディックメディア	W 18
7	杉 山 幸 比 古	講義録 呼吸器学	メジカルビュー社	WF 100
8	菅 野 健 太 郎	薬剤師のための臨床講座	メジテース	QV 748
9	菅 野 健 太 郎	EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドライン 第2版	じほう	WI 320
10	星 野 雄 一	しびれが気になるときに読む本	小学館	WL 710
11	尾 仲 達 史	ストレスの科学	ライフサイエンス出版	QZ 160
12	今 道 英 秋	レッツ・トライ 健康学習	やどかり出版	WA 590
13	中 村 好 一	1学年生による 「自治医科大学と地域医療についてのワークショップ」報告書	自治医科大学医学部	W 84.5

## 蔵書点検による臨時閉館について

蔵書点検作業のため、次のとおり臨時閉館いたします。

これに伴い、相互利用サービス業務も休止します。業務再開後の文献複写の取り寄せが遅れますので、ご承知おきください。

**閉館期間** 8月6日(月)～8月12日(日) …7日間

※ ただし、特に必要と認めた場合は、閉館中でも利用を許可します。

**問合せ先** 内線：3637



発 行 自治医科大学図書館

☎329-0431 栃木県下野市薬師寺3311-160 ☎ダイヤルイン:0285(58)7059

印刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷